
宇宙人ハンター

メロ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

宇宙人ハンター

【NZコード】

N3779C

【作者名】

メロ

【あらすじ】

宇宙人ハンターが、宇宙人を10万馬力でぶつ飛ばす！－！

俺は宇宙人ハンター！

俺は宇宙人を捕まえるすごいハンター！

俺にかかればどんな宇宙人もぶつ飛ばすぜ！――！――！

親父はバスの運転手ハンター、母親はパンジーをムシャムシャ食べるすげー奴なんだぜ！

みんなが言ってる！

だから信じて！

俺の好物はすき焼き！

肉が好きだ！

肉を食べると、頭がよくなつてすごい！

長生きできる！

野菜はダメ、即死する！

みんなも言ってる！

肉を食べない奴は、地獄にいって針で滅多刺しになるんだぜ！

みんなも言ってる！

今日も宇宙人を捕まえに行くんだぜ！

だからがんばるんだ！

どんな宇宙人もぶつ飛ばす！

俺のパワーはすごい！

みんなも言ってる！

俺はこのパワーを作りあげる為に毎日、筋力トレーニングしてりる――

りる、りる！

りるだぜ！

みんなも言ってる！

宇宙人を捕まえる前に、コーヒーを飲む！

俺はインスタントコーヒーが好きだ！！

インスタントコーヒーは健康にすごい効く！

病気が全部死滅する！

病気がみんな首を吊つてしまう！！！

グツグツと煮立ったコーヒーをガブガブと飲む！

うまいから50杯位飲んだ！

でも、まずいから20杯は捨てた！！！

さあ、宇宙人を捕まえに行こう！

宇宙人は逃げるで、捕まえないといけない！

まずは聞き込みだ！

捜査の基本は聞き込み！

みんなやつてる！

宇宙人は逃げるで聞き込みをして、探さないといけない！

頭脳がすごい使うので、俺みたいな頭がいい人しか宇宙人を捕まえられない！

あと、神に選ばれた人しかできない！

神に選ばれるのはすごい確立が低い！

聞き込みするので、家に入つたら人がいた！

人を見たら、殴りかかる！

恐ろしい、野生の本能を持つている俺！！

「許さないぞ！」

俺の得意の右のパンチ！

俺の右のパンチには悪魔が住んでいる！

家賃は12万円！！！

ばきつつ！！

相手はお漏らししちゃつたぜ！

どうも宇宙人のことは知らないみたいだ！

宇宙人のことを知らないと、俺はすごい困る！

宇宙人の手がかりがまるでない！

だから俺は警察署にいった！

そしたら拳銃をくれた！

これさえあれば宇宙人なんて怖くない！

「警察の人！宇宙を探しているんですけど、知りませんか？」

「興奮しないで、これでも食べて」

警察の人が芋がゆを出してくれた！

「おかゆにわずかに塩味がついていて、おいしい」

俺は芋がゆを食べてパワーアップした！

今までの俺とは違う！

宇宙からコスマパワーが俺の体に降りそそぐ！

この溢れるパワー！

暴力だけが、世界を救う！

暴力で宇宙人を捕まえる前に、コーヒーを飲む！

俺はインスタントコーヒーが好きだ！！

インスタントコーヒーは健康にすごい効く！

病気が全部死滅する！

病気がみんな首を吊つてしまふ！！！

グツグツと煮立ったコーヒーをガブガブと飲む！

うまいから50杯位飲んだ！

でも、まずいから20杯は捨てた！！！

さあ、宇宙人を捕まえに行こう！

宇宙人は逃げるので、捕まえないといけない！
まずは聞き込んだ！

捜査の基本は聞き込み！

みんなやつてる！

宇宙人は逃げるの聞きました、探さないといけない！

頭脳がすごい使うので、俺みたいな頭がいい人しか宇宙人を捕まえられない！

あと、神に選ばれた人しかできない！

神に選ばれるのはすごい確立が高い！

聞き込みするので、家に入つたら人がいた！

こないだは殴りかかつたが、今回は止めた！

いきなり人を殴るなんて、野蛮！

紳士はそんなことをしないのさー…

いつだつて話し合いで解決！

よし、話し合いだ！

「あの? どなたですか?」

「宇宙人ハンター！ ぶつ殺すぜ！」

話し合いはせめぎ合い！

脅して精神的に上に立つ！

「宇宙人を探している！ 出してもいおつか！ 一〇万匹」

「知りません」

ほうりきなすつた！

こうやつてとぼけるんだ！

みんな大体とぼける！

とぼけられると、俺は困る！

「そうですか！ 宇宙人のことを知らないのですね」

でも引くときは引く！

そこが紳士！

「知らないです」

どうやら知らないみたいだ！！！

火をつけてやつた！

紳士の炎で焼き尽くす！

捜査は振り出しに戻つた！

宇宙人はどこまで逃げるきなんだ！

困ったときは占い師に聞くのが一番！

占いの言つとおりにしていれば安全がやつてきて、平和が天から降つてくる！

これは本当だから信じて！

俺は占い師の所にやつてきた！

もちろん車だぜ！

すごいスピードが出るんだぜ！

俺は世界自動車免許を持つてるので、世界中で自動車を運転するこ

とができる！

スピード違反も、やり放題！

俺の車はこないだ出たばかりの奴で、すごいパワーなんだ！
パワーだけなら、一トントラックよりあるんじゃないかな？

その車で、占い師の所にやつてきた！！！

占いは大人気なので、すごい行列ができている！

占いはすごい人気だ！

占いブームで占いをしない奴は後れてる！
完全に遅れている！

そう、雑誌に載つてた！

俺は宇宙人ハンターで、偉いので並んだりはしない！
並んだりするのは偉くない奴！

「どいてくれ！俺を一番に占え！俺は偉いんだ！偉くない奴は後回
しだ」
並んでいる奴らをどかせる！

宇宙人ハンターはすぐに占つてもらいたい！

「宇宙人ハンターどうしました？」

占い師！

インチキくさい顔してるぜ！

嫌な臭いがブンブンにおつてくる！！！

「くさい息がかかる！黙れ！」

俺は言いにくいことを言える勇気を持っている！

「何を占いましょうか？」

「恋愛運を頼もうか！」

恋愛は大事！

俺は愛に生きる！

そして長生きして、愛を山に持つていって埋める！

「恋愛運はわるいですね、当分恋人はできません」

こうやって占い師は嘘ばかり言つ！

だいたいこいつらの言うことは嘘！

口を開けば嘘を言つ！

「恋愛なんてくそくらえだぜ！そんなことは聞いてない！宇宙人はどこにいるか占え！」

くだらないことばかり言つて、占い師は罰を『えなければいけない！石と石とですり潰す！

「ぎゃあああ！」

「あまり俺を怒らせないほうがいい！俺の戦闘力はまだまだこんなもんじやないんだろ？俺は自分自身でもコントロールしきれないほどの力があるんだろ？」

俺も知らない未知の力が、俺の中で渦巻いている！たぶん昔、封印された奴！

力こぶとかすごいからね！……

「宇宙人は東京にいます」

「東京だつて！」

東京はすごい都会なんだぜ！

ピカピカ光つている！

黄金の町！

「東京までの地図がないといけないな」

東京までの地図がないといけない！

伝説の町、東京！

伝説の町、東京に電車に乗つてやつてきた！

地図はいらなかつた！

地図なんてあつたら、荷物になつて大変だつた！

地図なんてあつたら、すぐにビリビリやぶくね！

俺は！地図をビリビリに破く！

すごいパワーでね！……

粉々だぜ！

「へへへ・・・ここが伝説の町、東京か・・・いい町じゃないの」

人が沢山いる、伝説の町、東京！

「東京に着いたら、腹が減つてしまつた！・・・何か盗んででも食べ

よつ

腹が減ると力が出なくて、俺は困る！

いつもの想像絶するパワーの、半分くらいしか出ない！

それでも普通の人何倍もパワーあるけどね！

鍛えているので、基礎が違う！

「せつから東京まで来たんだから、東京名物でも食べようかな」

東京にきたら名物を食べなければいけない！

東京にきて名物を食べない人がいたら・・・俺はゾッとするとね！！！
歩いてる人に聞いたら、東京ですごい評判のいい蕎麦屋を教えてくれた！

お礼に、ケツをおもいつきり蹴り飛ばしてやった！

ヒイヒイ言つて喜んでやがったぜ！

俺の蹴りは天地を創造する！

ケツを蹴れば、口から小判が飛び出していくぜー！

オウ！ダイナマイト！

評判の蕎麦屋にやつてきた！！

歩いてやってきた！

もちろん歩くスピードが他の人間より速い！

俺の脚はすごいパワーだから、普通に歩いていても早くなつてしまふ！

「いらっしゃいませ

蕎麦屋の店員！！！！

「蕎麦を食べにきてやつたぞ」

俺は宇宙人ハンターで偉いので、常に人を見下した態度！！！！

そこが男らしくて勇猛で天才で、盛りだくさんなのにすつきり澄んでいる俺！！！

皆が尊敬している！

これは皆が言つてる！

「ええい！早く、席に案内しろー足がくたびれちゃうだろ？が！」

足がくたびれるとすごくダルイので困る！

「はい！」から飛び出る。「

案内してくれた。

いい奴だ！

普段からたぶんいい奴だと思つ！

俺の勘はよく当たる！

すごくいい勘してるからな！

こんなに勘のいい人いないんじゃないの？

みんなも言つてる！！

「ご注文は何にしますか？」

おっと、いきなり注文！

「まだ、来たばっかりで考へてない！」

すぐくに食べる物を決めるなんてできない！

適当に注文してまずいのがきたら、後悔の渦に飲み込まれて体の内部から蝕まれて行つてしまつ！！！

すごく健康によくない！！

年間これで何十万人も命を落としている！！

至急、衆議院でこの問題に取り組んで法案を作つて、破り捨てほしい！

「おすすめは何かな？」

困つた時は、店の人へ聞くのも一つの手だ！！！

一番うまい物を教えてくれる！

「天ぷらうどんですね」

うどんに天ぷらがのつてゐる奴！！！

うどんの上に天ぷらをのせるなんて考えた人はすごいね！

ノーベル賞で、すい臓を滅多打ちにしてやりたい！

「うむ！天ぷらうどによむをいただこう」

最高だぜ天ぷらうどによむは！

五臓六腑に染み渡る！

命の食べ物だね！

「あ・・・あの天ぷらうどんでいいのでしょうか？」

何度も言わせんなグズが！

この店員は本当のグズ！

あとバカ！

「天ぷらうによむだ！くどいぞ！」

「天ぷらうによむはうちにないです」

天ぷらうによむがない！！

そんな蕎麦屋があつていいんでしょうか？

もうこれは蕎麦屋の存在価値を揺るがす大事件です！

「ここには蕎麦屋だろう！なぜ天ぷらうによむがないんだ！俺が誰だ
か知っているのか！宇宙人ハンターにして、稀代の美食家だぞ！」

俺を粗末に扱うと、店に火をつけたりする！！

ちよい悪、宇宙人ハンター！

高出力レーザーでこの蕎麦屋を焼き払う！

この蕎麦屋は悪魔の巣窟だつた！

「安心しろ。死なない程度に加減しておいた」
完全にぶっ殺した！

蕎麦屋を壊したので、経験値が俺の体に流れ込んできた！！

力が、力が、みなぎるうう！

だけどお腹が空いた！！

落ちていた鰯を食べた！

「ここ！これは幻の鰯だ！」

東京には幻の鰯が落ちている！！！

「よくそれが幻の鰯だと見破つたな！」

変な奴が現れた！！！！

「貴様は誰だ！」

光ファイバー回線並みの速さでパンチを当てた！

俺のパンチは世界の神々がビックリするほど破壊力がある！
食らった相手はみんな変死する！

俺のパンチを食らった相手は変死した！

どういう奴なのか？

敵なのか味方なのかわからない内に変死してしまった！

こういふことは、よくある！

おばあちゃんも言つてた！

東京は怖い町だ！

だから東京は、アメリカになつた！

すごいことがおきたんだ！

東京がアメリカになつた！

でも、こりうことはよくあること！

おばあちゃんも言つてた！

「おい！ そこの君！ 僕は保安官だけど、怪しいから質問する」と、英語で保安官が俺に喋りかけてきた！

東京はアメリカになつたので、当然みんなが英語だ！

「俺は宇宙人ハンター！ いいかい？ あと、俺は英語はできない！」

「じゃあ、日本語でしゃべるります！」

「ああ、良かつた。いつたいどうなることかと心配しました」

保安官が日本語で喋つてくれるので安心した！

安心したら眠くなつたので寝た！

よく寝ると元気が出る、すごい知恵だ！

一眠りして起きたら、体力が回復していた！

これなら、いつ宇宙人が出てきても大丈夫だぞ！

そしたら水辺から宇宙人が出てきた！！

「わああああ」

俺は最初、怖くて声を出した！

誰だつて、最初は怖いんだ！

恐怖に打ち勝つことはすごい大変！

でも、勝つた！

俺じやなかつたら完全に即死していた！

みんなも言つてる！

だから俺は尊敬される！

拌まれる！

拌むと、病気が治る！
肩の痛みが消える！

全部気のせい！

そしたら、お腹が減つたので雑煮を食べに行った！

なんて言つても正月には雑煮を食べなけりや！

今は正月ではないけれど、雑煮を食べれば正月になるので心配はない！

お雑煮を食べた！

「わああ、美味しい

美味しいお雑煮を食べたので正月だ！

あと、宇宙人を捕まえた！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3779c/>

宇宙人ハンター

2011年1月20日03時22分発行